

**製品名: ATG10 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82314**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                     |
| 宿主     | ねずみ  |
| 応用     | WB,ELISA,FC                                      |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | Mouse IgG1                                       |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                      |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 25.3kDa   |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | ATG10                                      |
| 別名           | APG10; APG10L; pp12616                     |
| 遺伝子 ID       | 83734.0                                    |
| SwissProt ID | Q9H0Y0                                     |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト ATG10 (AA: 1-125) の精製された組み換え断片。 |

**背景**

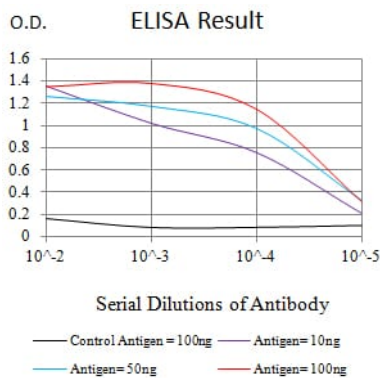
オートファジーは、リソソームによる細胞質コンパートメントのバルク分解プロセスです。ATG10はE2様酵素であり、オートファゴソーム形成に必須の2つのユビキチン様修飾に関与しています。ATG12 (MIM 609608) と ATG5 (MIM 604261) は、酵母 Apg8

のホモログである MAP-LC3 (MAP1LC3A; MIM 601242) の可溶性型を膜結合型へと修飾します (Nemoto et al., 2003 [PubMed 12890687]) 。

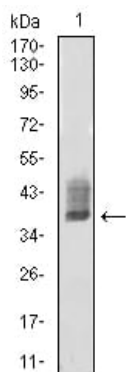
## 研究分野

オートファジー

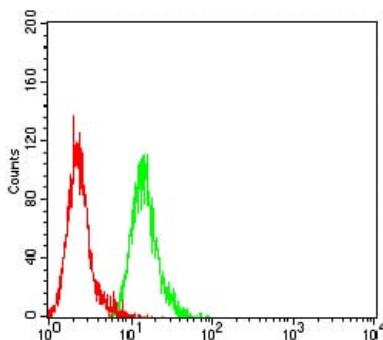
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



K562 (1) 細胞溶解物に対する ATG10 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



ATG10 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。